

1. 衛生検査所の登録状況

(1) 衛生検査所登録数（平成30年4月1日現在）

99施設（うち公立1、民間98）

(2) 過去3年間の推移（各年度4月1日現在）

平成27年度 86施設

平成28年度 85施設

平成29年度 93施設

2. 平成29年度中の登録状況

(1) 新規登録 10施設 （うち移転等による登録1施設）

(2) 廃止 4施設 （うち移転等による廃止1施設）

平成30年4月1日現在

3. 登録している検査業務別の衛生検査所数

（単位：か所）

登録している検査業務		生化学	血清	血液	微生物	病理	寄生虫	血清分離のみ	RI使用
衛生検査所数	平成29年度	50	53	52	29	29	19	8	2
	平成28年度	46	50	48	30	27	19	8	2

平成30年4月1日現在

4. 検査業務の登録数別の衛生検査所数

（単位：か所）

検査業務登録数	登録数6	登録数5	登録数4	登録数3	登録数2	登録数1	血清分離のみ	合計
衛生検査所数	8	7	3	26	17	30	8	99

5. 平成29年度精度管理調査（オープン調査）参加施設の状況

（単位：か所）

参加区分	生化学	血清	血液	微生物	寄生虫	細胞診			病理	
						実施状況調査	婦人科	咳痰	実施状況調査	ブロック
衛生検査所数	40	41	43	22	22	16	16	16	17	17

平成30年度 衛生検査所精度管理調査等計画表

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会日程		5月24日木曜日 第一回検討委員会 第一回検討専門委員会					10月中旬 第二回検討専門委員会		12月中旬 第三回検討専門委員会		2月5日火曜日 第二回検討委員会	
検討事項		調査の実施計画 調査項目 調査方法 試薬項目 集計方法 調査票					報告書の原稿依頼 調査結果の点検・評価		特別監視施設の選定 精度管理講習会(案)		精度管理講習会要領 調査結果報告	
実施事項		5月24日木曜日 第一回監視指導専門委員会	6月中旬 検体容器等収集	6月下旬 ブラインド調査一回目 協力医説明会試料配布	7月中旬 ブラインド調査二回目 試料配布	7月下旬 ブラインド調査三回目 協力医に資料配布	7月下旬 オープン調査 衛生検査所説明会 試料配布	各種試料作成 調査結果集計	12月初旬 報告書原稿の提出	1月下旬 第二回監視指導専門委員会	報告書印刷 報告書配布	3月22日金曜日 13時から 局研修センター(茗荷谷) 精度管理講習会
	[監視実施計画]			6月～8月 [特別監視]			9月～10月 [定例監視]		[監視まとめ]			

平成29年度精度管理調査結果及び監視指導結果に基づき選定された
平成30年度 特別監視指導対象 12 検査所の選定理由

-
- 1) 施設A
選定理由: 生化学(ブラインド:尿酸、ブドウ糖 許容限界線外)
その他: 血算(オープン:血小板 管理限界線外)
-
- 2) 施設B
選定理由: 生化学(ブラインド:尿酸 許容限界線外)
-
- 3) 施設C
選定理由: 生化学(オープン:クレアチニン、ブラインド:中性脂肪 許容限界線外)
微生物学 抗菌薬(オープン:IPM、GM、AMKで感性(S)を耐性(R)(major error))と報告
その他: 生化学(ブラインド:AST、ALT、ブドウ糖 許容限界線外)
血算(ブラインド:網赤血球 管理限界線外)
血液像HE16~20のうち、1枚を誤判定
微生物学 同定・染色(オープン:グラム染色MB5で推定菌種を*P. aeruginosa*と*H. influenzae*を回答)
-
- 4) 施設D
選定理由: 血算(オープン:血小板、網赤血球、
ブラインド:白血球、ヘマトクリット、平均赤血球容積 管理限界線外)
血液型(オープン:ABO血液型で部分凝集が見られるとしながら「判定保留」ではなく「A型」と判定)
その他: 生化学(ブラインド:ブドウ糖 許容限界線外)
血液像HE16~20のうち、1枚を誤判定
血清学(ブラインド:AFPのSE3とSE3'-4の相関が悪い)
-
- 5) 施設E
選定理由: 血液像HE16~20のうち、2枚を誤判定
-
- 6) 施設F
選定理由: H29年度監視指導の結果(管理者や検査の精度管理について等、指摘事項が多い)
-
- 7) 施設G
選定理由: 生化学(オープン:HbA1c 許容限界線外)
その他: 血算(オープン:赤血球、ヘマトクリット 管理限界線外)
血液像HE16~20のうち、1枚を誤判定
-
- 8) 施設H
選定理由: 病理組織(オープン:調査票にて技師1人あたりの検体数が19,043件と報告されたが、
平均(2,911件)の6倍以上となり職員の健康状態や施設の設備に懸念)
-
- 9) 施設I
選定理由: 血算(オープン:ヘモグロビン、血小板、ブラインド:白血球、血小板 管理限界線外)
血清学(CRPの基準値を一桁誤記載)
その他: 血液像HE16~20のうち、1枚を誤判定
-
- 10) 施設J
選定理由: 血算(オープン:ヘマトクリット、血小板、MCV、
ブラインド:ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板、MCV 管理限界線外)
その他: 生化学(ブラインド:尿酸 許容限界線外)
血液像HE16~20のうち、1枚を誤判定
微生物学 同定・染色(グラム染色MB5にて推定菌種を*K. pneumoniae*と回答)
-
- 11) 施設K
選定理由: 微生物学 抗菌薬(オープン・ブラインド:FOMで耐性(R)を感性(S)(very major error)、
TAZ/PIP、IPMで感性(S)を耐性(R)(major error)と報告
その他: 血算(オープン:血小板 管理限界線外)
血液像HE16~20のうち、1枚を誤判定
細胞診(喀痰CY5のコメントで「Small cell ca.が疑われる」とあるが、細胞所見は典型的なSmall cell ca.である
ためにやや難あり(やや不良)と判定)
-
- 12) 施設L
選定理由 生化学(オープン:総ビリルビン、総コレステロール、Cl、ALP、
ブラインド:中性脂肪、尿酸 許容限界線外)
その他: 血清学(オープン:CRPのSE3とSE7の相関が悪い)
-